

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 国際ロータリー会長 K. R. "ラビ" ラビンドラン



2015-2016年度

会長:丸山弘昭 幹事:田中正次 クラブ会報委員長:川中有志

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2016 February 10

■ 2015~2016年度方針

“楽しくそして為になるRCを!!”

NO.27

例会報告

●第2115回例会 平成28年2月10日(水) 晴

●2月は平和と紛争予防/紛争解決月間

●ロータリーソング 我等の生業

●出席報告 会員 109名中 (102) 出席69名

出席率67.65% 修正出席率88.24%
(1月27日分)

●ゲスト紹介

ゲストスピーカー

中部大学 経営情報学部 教授

(経済学博士) 寺澤 朝子さん

●ニコボックス

「昨日の中日新聞市民版に紹介していただきました。」 横井辰幸君

「先日マージャン大会で、初優勝させていただきました。カレーを大量にいただきありがとうございました。」 山田和弘君

本日のニコボックス 2件 4,000円

累計 119件 1,396,000円

柏木博喜副幹事報告

▽当クラブ行事予定

・2月17日(水) 例会終了後、クラブアッセンブリーを開催致します。

※理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致します。

ます。委員長ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願い致します。

クラブアッセンブリー終了後、理事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

・2月25日(木) 東名古屋分区IM、場所は名古屋東急ホテルです。

受付 15:30~16:30

式典 16:30~17:00

講演 17:05~18:40

懇親会 18:50~20:20

※2月24日(水)の例会はございません。

※本日、地区研修・協議会のご案内を出席義務者の方に配布しております。

丸山弘昭会長挨拶

今週は後継者がリーダーシップを発揮し易い経営環境づくりについて話をします。先週の会長挨拶は事業承継に関する3つの質問をお話しをしました。

①継がせるべき事業か? ②継がせる器である後継者はいるか? ③会社は継がせる状態になっているか。が3つの質問でした。

私自身経営コンサルタントという立場ですが、一番目と二番目の相談に適確に応えるのは大変難しいテーマです。しかし、三番目の相談にははるかに容易にアドバイスとサポートをすることが出来ます。

「会社は継がせる状態になっているか」という質問に対する回答ですが一番確かなことは、後継者がリーダーシップを発揮し易い「良き社風」と「経営管理のしくみ」を整備することであると思います。

まず「良き社風」づくりですが、創業者は「我が社の存在価値」を経営理念として定め、浸透させる

ことです。経営の神様、松下幸之助氏も「正しい経営理念を持つことは事業経営で最も大事なことです」と語っています。会社を船に例えれば経営理念は航海の目標となる「星」であって、その星を目指したビジョン・戦略を策定することが大事です。又、経営判断に迷った時の判断基準としても重要です。

「経営管理のしくみ」もビジョンと戦略を実現していく為の組織運営には欠かせません。①経営環境変化を考えて中期経営計画を策定する。②予算制度を確立し、ボトムアップ・トップダウン両面から実現可能な挑戦的予算をつくり上げる。③月次決算制度を確立し業績検討会議で達成状況をタイムリーにチェックし、未達の場合は対策を立てる。④業績に貢献した社員に報いる人事制度と社員一人ひとりが目標を持って仕事にチャレンジする目標管理制度をつくる。⑤社員の能力発揮を支援する教育制度の構築などです。多忙な社長が何から何まですべてを判断決済しなくても組織が回る職務権限規程の整備運用、社外取締役も含めた取締役会の運営によるガバナンス強化と取締役間での情報共有、重要経営課題検討の場づくりも重要と思います。

私が大好きな松下幸之助氏の経営語録の一つに「衆知経営」があります。「私はいかに学問知識があり、優れた手腕をもった人といえども、この“衆知を集める”ということはきわめて大切だと考えている。それなしには真の成功はあり得ないだろう。経営者としての主座というものをしっかり保ちつつ衆知を集めていくところに、本当に衆知が生きてくるのである」と語っています。会員の皆様の参考になれば幸いです。

卓 話

今、大学はどうなっているのか？ —大学全入時代の教育改革と現状—

中部大学 経営情報学部 教授
(経済学博士) 寺 澤 朝 子

プロフィール

名古屋大学大学院経済学研究科卒
主な役職 経営情報学部学部長補佐
大学教育研究センター副センター長
専 門 経営学分野の組織論・組織行動論

研究テーマ 組織メンバーのモチベーション向上策 組織変革に関する研究



卓話では、大学という高等教育機関が置かれている厳しい現状をお伝えし、中部大学がどのような教育改革を行っているのかについてお話しさせていただきました。

全入時代を迎えた大学は、私立大学の半分以上が定員割れを起こしています。学力において格差の大きい学生を受け入れるようになり、そういった学生を4年間かけてどのように教育するかを各大学は模索しています。

中部大学の教育改革については、2つの試みをご紹介しました。ひとつは、建学の精神に基づく入り口（初年次教育）と出口（キャリア教育）の教育の強化です。大学生としての自覚を持ち、4年間目標を持って計画的に過ごしてもらうためには、自分を知り、自信を持ってさまざまなことに挑戦してもらう必要があります。もうひとつは、教員のFD（ファカルティ・ディベロップメント）です。教員らの教育改善の努力なくして、学生への良い教育効果は生まれません。中部大学では、授業サロンなどの「魅力ある授業づくり」の取り組みに地道に取り組んでいます。

最後に、参加者の皆様には、大学選択の際には、教育の中身をよく見ていただきたいということと、研究だけではなく、大学教育におけるより積極的な産学連携の願いをさせていただきました。ご傾聴に心より感謝いたします。

例会	月日	今後の予定
第2116回	2.17	元青年海外協力隊員 吉田麗美さん 「[UNDOKAI]で変わった子供達 ～カンボジアの未来のために～」
第2117回	2.25 (木)	東名古屋分区 I M 全員登録 受付 15:30～16:30 式典 16:30～17:00 講演 17:05～18:40 懇親会 18:50～20:20 名古屋東急ホテル (2月24日(水)の例会はございません。)

○このウィクリーは再生紙を使用しております。